

環境経営レポート

(期間：令和元年9月～令和2年8月)



発行年月日 令和 2 年 12 月 28 日

株式会社 道路交安

目 次

1. 組織の概要 1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日 2
3. 環境経営方針 3
4. 環境管理組織体制 4
5. 環境経営活動への取組の全体概要 5
6. 環境経営目標 6
7. 環境経営活動計画 8
8. 環境経営目標の実績 9
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価 11
10. 次年度の環境経営活動計画 17
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 18
12. 代表者による全体評価と見直し・指示 19
13. その他の取組 20

発行日： 令和 2 年 12 月 28 日
発行責任者：環境管理責任者 安岡 伸和

次回発行予定： 令和 3 年 10 月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 道路交安

【代表者氏名】 代表取締役 岡 廣明

【所在地】 〒781-8104
高知県高知市高須3丁目4番20号

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 安岡 伸和
連絡先担当者 岡 進也
連絡先 TEL : 088-883-2025
FAX : 088-861-1040
E-mail : oka@douro-kouan.co.jp

【事業活動の内容】

建設業 (道路標識工事・区画線工事・交通安全施設工事など)

建設業許可

許可番号 高知県知事許可(般-29)第6477号

許可年月日 平成29年12月9日

建設業の種類

土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、塗装工事業

石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和59年5月31日

資本金 1000万円

	第31期	第32期	第33期
工事等の件数 (件)	533	522	597
売上高 (百万円)	267	272	233
従業員数 (名)	21	19	20
事業所敷地面積 (m ²)	750	750	750
事業所延べ床面積 (m ²)	280	280	280

従業員数は、8月31日時点

※第31期 … 平成29年9月～平成30年8月

第32期 … 平成30年9月～令和元年8月

第33期 … 令和元年9月～令和2年8月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社道路交安 （全社 全活動 全従業員）

本社 高知県高知市高須 3丁目4番20号

対象事業： 道路標識工事・区画線工事・交通安全施設工事

【レポートの対象期間】

令和元年 9月～令和2年 8月

【環境経営レポートの発行日】

令和2年 12月 28日

【作成責任者】

環境管理責任者 安岡 伸和

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社道路交安は事業活動を通じて地元企業の一員として地域に密着した、地域社会との融和を図り、環境への配慮をし、地域未来の環境影響に対して十分な配慮した活動を自主的積極的に実施することで、地域の風土、歴史文化と調和した環境作りに貢献します。

【環境経営方針】

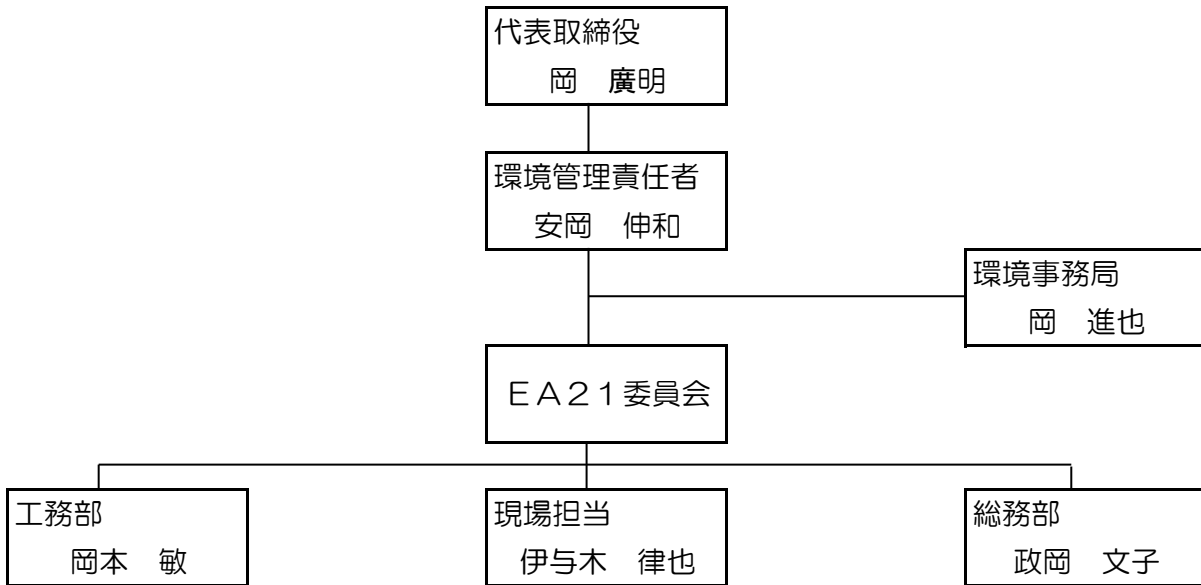
1. 継続的改善及び汚染の予防（環境負荷の低減）に向けた環境保全活動を推進します。
2. 適用する環境関連法規類及びその他要求事項を遵守します。
3. 事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ①総エネルギー使用量の削減
 - ②CO₂の削減
 - ③水資源使用量の削減
 - ④廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ⑤事務用紙使用量の削減
 - ⑥環境に配慮した施工、環境に優しい工事方法を考え実行する。
 - ⑦現場の施工にあたり協力会社に対して、環境保全を求め現場にあたり環境認識の向上に努める。
4. 環境方針は全社員に周知徹底し、一般の人が閲覧可能な場所に提示し要求に応じて配布します。
5. 事務用品及び資材は、環境に優しいエコ、グリーン等を使用します。

制定日 平成24年 5月10日

代表取締役

岡 廣明

4. 環境管理組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知 環境経営目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境経営実施計画を承認 環境経営の取り組み結果を代表者へ報告 倉庫の管理・点検など
環境事務局	環境経営活動責任者、EA21推進・管理の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境経営目標・環境経営実施計画原案の作成 環境経営実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	現場における環境経営システムの実施 現場における環境方針の周知 現場の従業員に対する教育訓練の実施 現場関連の環境経営目標及び環境経営実施計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成および運用管理 緊急事態への対応の貯めの手順書作成、テスト・訓練・記録 現場の問題点の発見、是正、予防処置
従業員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

CO₂排出量が今期59.4tとなり目標の51.3tを15%超え目標未達成となりました。また、売上百万円当りでも目標を16%超え未達成となりました。その要因としては、区画線工事の増加によるガス等の燃料使用量の増加が考えられます。

○燃料使用量の削減については、バンドソーの購入、アイドリングストップ、省エネ運転の実施を行い、燃料使用量の削減を行いました。

バンドソー（2020年7月：1台）

○電力使用量の削減については、事務所照明・パソコンの昼休み及び外出時の消灯を行いました。

また、複合機の更新を行い、電力使用量の削減を行いました。

複合機（2020年4月：1台）

○廃棄物削減については、コピーの裏紙使用を行いました。

○環境美化活動についても、本年度は、ロードボランティア活動（12回）、その他清掃活動（2回）実施しております。



複合機の更新

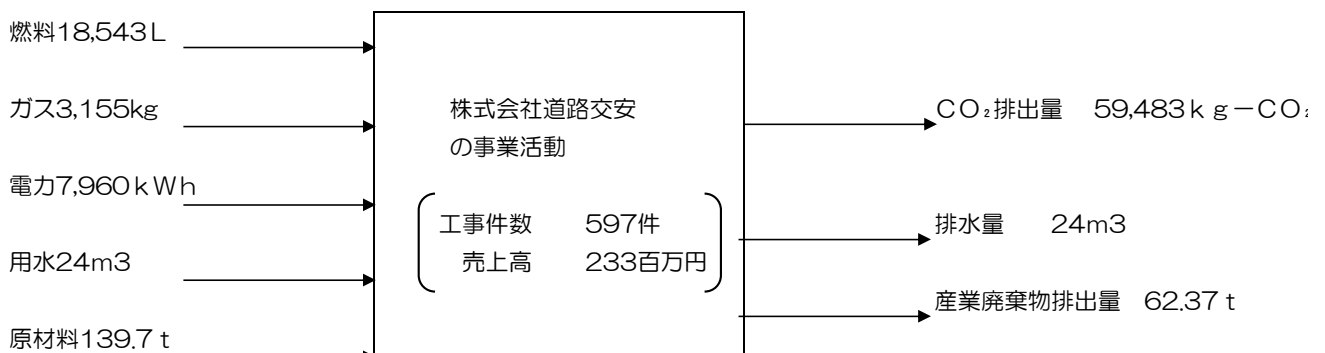


バンドソーの購入



ロードボランティア活動

<株式会社道路交安の物質フロー>（第33期）



6. 環境経営目標

(第33期)

<総量目標>

(1) 単年度目標

項目	総量/原単位	単位	基準年 H26~28年度 H26.4+H29.3平均	第33期 目標 R1.9-R2.8
<売上高>		(百万円)	235	240
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,615	7,463
	原単位	(ℓ/百万円)	32.40	31.10
軽油使用量	総量	(ℓ)	9,372	9,185
	原単位	(ℓ/百万円)	39.88	38.27
ガス使用量	総量	(kg)	1,952	1,913
	原単位	(kg/百万円)	8.31	7.97
電力使用量	総量	(kWh)	7,836	7,679
	原単位	(kWh/百万円)	33.34	32.00
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,326	51,279
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	222.66	213.66
用水使用量	総量	(m ³)	20	20
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.08
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	115	113
	原単位	(kg/百万円)	0.49	0.47
産業廃棄物排出量	総量	(t)	172	169
	原単位	(t/百万円)	0.73	0.70
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	90	92
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	9	10
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (562件/562件)	100 全工事

第33期目標値：平成26年4月～平成29年3月の3年の平均値を基準とする。

* 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事件数

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）
- 吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）
- 斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）
- コンクリート2次製品の使用（廃材の低減、工期短縮）
- 吸引機による排水の吸水実施
- 充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用
- 充電式インパクトレンチの使用

(2) 中長期目標

項目	総量/原単位	単位	H26~28年度 実績(基準年) H26.4-H29.3	第33期 目標 R1.9-R2.8	第34期 目標 R2.9-R3.8	第35期 目標 R3.9-R4.8
<売上高>		(百万円)	235	240	240	240
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,615	7,463	7,310	7,158
	原単位	(ℓ/百万円)	32.40	31.10	30.46	29.83
軽油使用量	総量	(ℓ)	9,372	9,185	8,997	8,810
	原単位	(ℓ/百万円)	39.88	38.27	37.49	36.71
ガス使用量	総量	(kg)	1,952	1,913	1,874	1,835
	原単位	(kg/百万円)	8.31	7.97	7.81	7.65
電力使用量	総量	(kWh)	7,836	7,679	7,523	7,366
	原単位	(kWh/百万円)	33.34	32.00	31.35	30.69
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,326	51,279	50,233	49,186
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	222.66	213.66	209.30	204.94
用水使用量	総量	(m ³)	20	20	19	19
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.08	0.08	0.08
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	115	113	110	108
	原単位	(kg/百万円)	0.49	0.47	0.46	0.45
産業廃棄物排出量	総量	(t)	172	169	165	162
	原単位	(t/百万円)	0.73	0.70	0.69	0.68
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	90	92	94	95
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	9	10	10	10
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (562件/562件)	100 全工事	100 全工事	100 全工事

第33期目標値

目標値：基準値に対して 第33期（2%減） 第34期（4%減） 第35期（6%減）とする。

7. 環境経営計画

(第33期)

期間： 令和元年 9月 ～ 令和2年 8月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	全員	R2. 8.31
		○燃費の良い車両の使用	全員	R2. 8.31
		○現場への移動は相乗りで行く	全員	R2. 8.31
		○車の利用はできるだけまとめて行う	全員	R2. 8.31
	電力使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯（帰宅時に記録する）	全員	R2. 8.31
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬20℃）	全員	R2. 8.31
		○空調使用時間の記録	全員	R2. 8.31
		○不使用時のパソコンの電源OFF	全員	R2. 8.31
		○残業時間の削減	全員	R2. 8.31
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水シール貼付による啓発	全員	R2. 8.31
		○工具等の洗浄時に水を流しっ放しにしない	全員	R2. 8.31
		○雨水の有効利用	全員	R2. 8.31
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用(裏紙専用トレーの利用)	全員	R2. 8.31
		○FAXは、必要なものだけを印刷する	全員	R2. 8.31
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	全員	R2. 8.31
		○ペーパーレス化に努める	全員	R2. 8.31
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	全員	R2. 8.31
		○マニフェスト発行による適正処理実施	全員	R2. 8.31
グリーン購入		○事務用品はできるだけグリーン商品を購入する	政岡 文子	R2. 8.31
		○材料販売はエコ・グリーン商品を推奨する	政岡 文子	R2. 8.31
化学物資排出量削減		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	全員	R2. 8.31
		○使用量を最小に抑える施工方法の徹底 ※区画線工のプライマー散布時	全員	R2. 8.31
社会貢献・環境美化活動		○ロードボランティア活動を実施する。	全員	R2. 8.31
		○各団体主催の清掃活動に参加する。	岡 進也	R2. 8.31
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	全員	R2. 8.31
		○区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）	全員	R2. 8.31
		○吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）	全員	R2. 8.31
		○斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）	全員	R2. 8.31
		○吸引機による排水の吸水実施	全員	R2. 8.31
		○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用	全員	R2. 8.31
		○充電式インパクトレンチの使用	全員	R2. 8.31

8. 環境経営目標の実績

(第33期)

<総量目標>

(1) 単年度目標の実績

項目	総量/原単位	単位	基準年	第33期	第33期	実績/目標 (%)	評価
			H26~28年度 H26.4+H29.3平均	目標 R1.9-R2.8	実績 R1.9-R2.8		
<売上高>		(百万円)	235	240	233	97	
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	7,615	7,463	8,006	107	×
	原単位	(ℓ/百万円)	32.40	31.10	34.36	110	×
軽油使用量	総量	(ℓ)	9,372	9,185	10,537	115	×
	原単位	(ℓ/百万円)	39.88	38.27	45.22	118	×
ガス使用量	総量	(kg)	1,952	1,913	3,155	165	×
	原単位	(kg/百万円)	8.31	7.97	13.54	170	×
電力使用量	総量	(kWh)	7,836	7,679	7,960	104	×
	原単位	(kWh/百万円)	33.34	32.00	34.16	107	×
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	52,326	51,279	59,483	116	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	222.66	213.66	255.29	119	×
用水使用量	総量	(m ³)	20	20	24	120	×
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.08	0.10	120	×
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	115	113	124	110	×
	原単位	(kg/百万円)	0.49	0.47	0.53	113	×
産業廃棄物排出量	総量	(t)	172	169	62	37	○
	原単位	(t/百万円)	0.73	0.70	0.27	38	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	90	92	89	97	×
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	9	10	14	140	○
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (562件/562件)	100 全工事	100 (597件/597件)	100	○

第33期目標値：平成26年4月～平成29年3月の3年の平均値を基準とする。

*1. 購入電力のCO₂ 排出係数は平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

*2. 環境負荷の少ない工事件数

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）
- 吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）
- 斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）
- コンクリート2次製品の使用（廃材の低減、工期短縮）
- 吸引機による排水の吸水実施
- 充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用
- 充電式インパクトレンチの使用

*3. 評価は、「○」、「×」等で評価する。

環境経営目標の未達成理由

ガソリン使用量 軽油使用量 ガス使用量 電力使用量 CO ₂ 排出量 一般廃棄物排出量	<p>遠方(室戸市,東洋町,北川村など)の工事の受注があったため、現場への移動距離と車の使用頻度が増加したため。</p> <p>区画線工事の受注量が増加したため。</p> <p>エアコン等の使用量や残業時間が増加したため。</p> <p>ガソリン,軽油,ガス等の燃料使用量が増加したため。</p> <p>打合せ等で使用する紙資料（使い捨ての為、裏紙使用）等のごみの量が増加したため。</p>
---	---

(2) 環境経営目標の実績の推移

項目	総量/原単位	単位	第29期	第30期	第31期	第32期	第33期
			実績 H27.9-H28.8	実績 H28.9-H29.8	実績 H29.9-H30.8	実績 H30.9-R1.8	実績 H30.9-R1.8
<売上高>		(百万円)	214	299	267	272	233
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,226	9,193	9,152	8,128	8,006
	原単位	(ℓ/百万円)	38.44	30.75	34.28	29.88	34.36
軽油使用量	総量	(ℓ)	12,048	9,679	11,218	9,941	10,537
	原単位	(ℓ/百万円)	56.30	32.37	42.01	36.55	45.22
ガス使用量	総量	(kg)	1,201	1,441	1,852	3,239	3,155
	原単位	(kg/百万円)	5.61	4.82	6.94	11.91	13.54
電力使用量	総量	(kWh)	7,694	7,613	9,493	8,399	7,960
	原単位	(kWh/百万円)	35.95	25.46	35.55	30.88	34.16
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	53,770	50,624	61,326	58,714	59,483
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	251.26	169.31	229.69	215.86	255.29
用水使用量	総量	(m ³)	20	17	26	18	24
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.06	0.10	0.07	0.10
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	65	111	101	142	124
	原単位	(kg/百万円)	0.30	0.37	0.38	0.52	0.53
産業廃棄物排出量	総量	(t)	86	188	68	323	62
	原単位	(t/百万円)	0.40	0.63	0.25	1.19	0.27
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	93	97	91	97	89
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	8	7	12	12	14
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100	100	100	100	100
			(513件/513件)	(611件/611件)	(533件/533件)	(522件/522件)	(597件/597件)

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

(第33期)

期間： 令和元年9月～令和2年8月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	出来ている	待機中のエンジン停止、エアコンの制限、相乗り等、燃料の削減に努めている。	今後も呼び掛けを徹底する。 燃費の良い車両への乗り換えを検討する。 ムダのない車両利用計画を立てる。
		○燃費の良い車両の使用	良く出来ている		
		○現場への移動は相乗りで行く	出来ている		
		○車の利用はできるだけまとめて行う	出来ている		
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯(帰宅時に記録する)	良く出来ている	退社時チェックリストを作成し消灯確認を記録し消し忘れ等を防止し、電力の削減に努めている。 空調機の温度設定は、もう少し取り組みが必要である。 現場が遠方のため、残業時間が増えている。	昼休み中の仕事や残業時間を短縮できるような仕組みを検討する。 今後も節電に努める。
		○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	もう少し		
		○空調使用時間の記録	出来ている		
		○不使用時のパソコンの電源OFF	出来ている		
		○残業時間の削減	もう少し		
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付による啓発	出来ている	手洗い時の水量制限、工具等の洗浄はバケツに水を貯めて行う等、節水を心掛けている。	今後も節水に努める。 雨水の利用などを検討する。	
	○工具等の洗浄時に水を流しっ放しにしない	出来ている			
	○雨水の有効利用	もう少し			
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用(裏紙専用トレーの利用)	良く出来ている	各自が積極的に裏紙を使用している。	用紙については、可能な限り書類の電子化・ペーパーレス化を行う。
		○FAXは、必要なものだけを印刷する	出来ている		
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	出来ている		
		○ペーパーレス化に努める	出来ている		
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	出来ている	リサイクルできるものを選別している。	今後も分別徹底に努める。
		○マニフェスト発行による適正処理実施	出来ている	廃棄物の適正処理も行われている。	
グリーン購入	○事務用品はできるだけグリーン商品を購入する	出来ている	商品購入前には必ず、グリーン商品の有無をグリーン商品リストを活用し確認している。	グリーン購入率を増やす。	
	○材料販売はエコ・グリーン商品を推奨する	出来ている			
化学物資排出量削減	○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	出来ている	施工前に使用量の確認を行っている。	今後も削減に努める。	
	○使用量を最小に抑える施工方法の徹底 ※区画線工のプライマー散布時	出来ている			
社会貢献・環境美化活動	○ロードボランティア活動を実施する。	出来ている	ロードボランティアを年12回実施。	今後も実施・参加する。	
	○各団体主催の清掃活動に参加する。	出来ている	各団体主催の清掃活動へ年2回参加。		
環境負荷の少ない工事実施	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	出来ている	計画通り実施されている。	今後も継続する。	
	○区画線工事において溶袋式ライン材を使用(ごみの低減)	出来ている	計画通り実施されている。		
	○吸水ローラー使用による路面吸水実施(ガス使用量低減)	出来ている	計画通り実施されている。		
	○斜め切りスリッターの使用(ガムテープ等のごみの低減)	出来ている	計画通り実施されている。		
	○吸引機による排水の吸水実施	出来ている	発生する排水は、吸引機等で回収し汚泥として適正に処理されている。		
	○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用	出来ている	計画通り実施されている。		
	○充電式インパクトレンチの使用	出来ている	計画通り実施されている。		

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



複合機の更新

2020年4月に複合機1台を更新しました。
印刷機能が向上し、効率UPとなっています。



バンドソーの購入

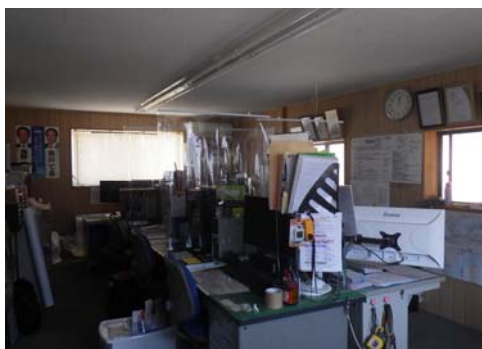
2020年7月にバンドソー1台を購入しました。
材料の切断加工機能が向上し、作業効率UPとなっています。



社内掲示

エコ運転推進の為、エコドライブ10のポスター
を会社の出入口付近に掲示し、社用車の燃料
使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み（12時～13時）消灯し、
節電に努めています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2016年9月設置)

本社事務所内の水道蛇口（4ヶ所）に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

3. 廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱：2015年4月設置，2018年8月再設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、裏紙専用トレイ設置

ミスコピー用紙は、裏紙として使用し、また裏紙専用トレイを設置することにより、年間でコピー用紙の使用量を削減しました。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類

ボールペン、シャープペン等

5. 環境負荷の少ない工事実施



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：平成31年度奈半利管内安全施設整備工事
工事期間：2019年4月1日～2020年3月31日
工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村
低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



区画線工事において溶袋式ライン材の使用

工事名称：全区画線工事
工事期間：
工事場所：
溶袋式ライン材を使用する事で、袋と材料と一緒に溶かし使用する事により廃棄物の削減に努めました。



吸水ローラー使用による路面吸水実施

工事名称：全区画線工事
工事期間：
工事場所：
吸水ローラー使用による路面吸水を実施する事で、ガス使用量の低減に努めました。



斜め切りスリッターの使用

工事名称：全区画線工事
工事期間：
工事場所：
斜め切りスリッターを使用する事で、ガムテープ等の廃棄物の低減に努めました。



2缶搭載のプライマー散布機の使用

工事名称：全区画線工事

工事期間：

工事場所：

2缶搭載のプライマー散布機を使用する事で、作業効率が向上し、燃料使用量の低減に努めました。



濁水防止対策の実施

工事名称：平成31年度奈半利管内安全施設整備工事

工事期間：2019年4月1日～2020年3月31日

工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村

コンクリート削孔時に発生する排水を吸引機で吸水し、工事場所周辺が汚れないよう努めました。



集塵式ロータリーハンマードリルの使用

工事名称：平成31年度奈半利管内安全施設整備工事

工事期間：2019年4月1日～2020年3月31日

工事場所：高知県安芸郡東洋町～安芸郡芸西村

集塵式ロータリーハンマードリルを使用する事で、穿孔時の粉塵飛散を防止し、施工場所までの工具の持ち運びを軽減し作業効率の向上に努めました。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

自社周辺及び県道桂浜宝永線他のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

(年12回実施：2019年9月～2020年8月)

7. 社内教育訓練

(1) 定期勉強会



定期勉強会

工事の安全教育の中で、環境保護・施工手段の講義を行いました。

(講師：安岡 伸和)

(2) 緊急事態訓練



消火訓練 (2019年5月7日)

消火器の点検・置き場所確認

使用方法の確認

火災時の避難訓練

8. 高知クリーン推進会



OA用紙の回収

(回収ボックス：2017年6月設置)

高知クリーン推進会に入会し、事務所の使用済みOA用紙を回収し、トイレトーパー等の再生品の原料とするリサイクル活動を行っています。

9. レジ袋削減の取組み



男も(女も)持つぞ!

マイバッグキャンペーン2019への参加

- ・取組み期間：2019年10月1日～11月30日
- ・参加者数：3名
- ・レジ袋の辞退回数合計：116
- ・レジ袋辞退によるCO2削減量：8.63kg

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(第34期)

<総量目標>

(1) 単年度目標

項目	総量/原単位	単位	基準年 直近3年間の 平均値	第34期 目標 R2.9-R3.8
<売上高>		(百万円)	257	262
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,429	8,260
	原単位	(ℓ/百万円)	32.80	31.53
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,565	10,354
	原単位	(ℓ/百万円)	41.11	39.52
ガス使用量	総量	(kg)	2,749	2,694
	原単位	(kg/百万円)	10.70	10.28
電力使用量	総量	(kWh)	8,617	8,445
	原単位	(kWh/百万円)	33.53	32.23
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	59,841	58,644
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	232.84	223.83
用水使用量	総量	(m ³)	23	22
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.08
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	122	120
	原単位	(kg/百万円)	0.47	0.46
産業廃棄物排出量	総量	(t)	151	148
	原単位	(t/百万円)	0.59	0.56
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	92	94
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	13	13
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (558件/558件)	100 全工事

* 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、平成30年12月27日公表の四国電力の調整後排出係数0.535 (kg-CO₂ / kWh) を使用した。

* 2. 環境負荷の少ない工事件数

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 区画線工事において溶袋式ライン材を使用（ごみの低減）
- 吸水ローラー使用による路面吸水実施（ガス使用量低減）
- 斜め切りスリッターの使用（ガムテープ等のごみの低減）
- コンクリート2次製品の使用（廃材の低減、工期短縮）
- 吸引機による排水の吸水実施
- 区画線工事において、2缶搭載のプライマー散布機の使用
- 充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用
- 充電式インパクトレンチの使用
- バンドソーの使用

* 3. 直近3年は第31期（H29.9-H30.8）～第33期（H30.9-R1.8）の実測値

(2) 中長期目標

項目	総量／原単位	単位	基準値 直近3年間の 平均値	第33期 目標 R1.9-R2.8	第34期 目標 R2.9-R3.8	第35期 目標 R3.9-R4.8
<売上高>		(百万円)	257	262	262	262
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	8,429	8,260	8,092	7,923
	原単位	(ℓ/百万円)	32.80	31.53	30.89	30.24
軽油使用量	総量	(ℓ)	10,565	10,354	10,142	9,931
	原単位	(ℓ/百万円)	41.11	39.52	38.71	37.90
ガス使用量	総量	(kg)	2,749	2,694	2,639	2,584
	原単位	(kg/百万円)	10.70	10.28	10.07	9.86
電力使用量	総量	(kWh)	8,617	8,445	8,272	8,100
	原単位	(kWh/百万円)	33.53	32.23	31.57	30.92
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	59,841	58,644	57,447	56,251
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	232.84	223.83	219.26	214.70
用水使用量	総量	(m ³)	23	22	22	22
	原単位	(m ³ /百万円)	0.09	0.08	0.08	0.08
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	122	120	117	115
	原単位	(kg/百万円)	0.47	0.46	0.45	0.44
産業廃棄物排出量	総量	(t)	151	148	145	142
	原単位	(t/百万円)	0.59	0.56	0.55	0.54
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	92	94	96	98
社会貢献・環境美化活動	総量	(件)	13	13	10	10
環境負荷の少ない 工事件数	総量	(%)	100 (558件/558件)	100 全工事	100 全工事	100 全工事

第33期目標値

目標値：基準値に対して 第33期（2%減） 第34期（4%減） 第35期（6%減）とする。

10. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画

(第34期)

期間： 令和 2 年 9 月 ～ 令和 3 年 8 月

項目		活動内容	担当者	期限
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○アイドリングストップ、省エネ運転の実施	全員	R3.8.31
		○燃費の良い車両の使用	全員	R3.8.31
		○現場への移動は相乗りで行く	全員	R3.8.31
		○車の利用はできるだけまとめて行う	全員	R3.8.31
	電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯（帰宅時に記録する）	全員	R3.8.31
		○空調機の温度設定（夏28℃、冬20℃）	全員	R3.8.31
		○クールビズ・ウォームビズを実行する	全員	R3.8.31
		○不使用時のパソコンの電源OFF	全員	R3.8.31
		○残業時間の削減	全員	R3.8.31
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水シール貼付による啓発	全員	R3.8.31
		○工具等の洗浄時に水を流しっ放しにしない	全員	R3.8.31
		○雨水の有効利用	全員	R3.8.31
廃棄物削減	一般廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用(裏紙専用トレーの利用)	全員	R3.8.31
		○FAXは、必要なものだけを印刷する	全員	R3.8.31
		○役所等への報告は、できるだけメールで行う	全員	R3.8.31
		○ペーパーレス化に努める	全員	R3.8.31
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	全員	R3.8.31
		○マニフェスト発行による適正処理実施	全員	R3.8.31
化学物資排出量削減		○事前に使用量を確認し、無駄な使用は行わない	全員	R3.8.31
		○使用量を最小に抑える施工方法の徹底 ※区画線工のプライマー散布時	全員	R3.8.31
社会貢献・環境美化活動		○ロードボランティア活動を実施する。	全員	R3.8.31
		○各団体主催の清掃活動に参加する。	岡 進也	R3.8.31
環境負荷の少ない工事実施		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	全員	R3.8.31
		○区画線工事において溶袋式ライン材を使用(ごみの低減)	全員	R3.8.31
		○吸水ローラー使用による路面吸水実施(ガス使用量低減)	全員	R3.8.31
		○斜め切りスリッターの使用(ガムテープ等のごみの低減)	全員	R3.8.31
		○吸引機による排水の吸水実施	全員	R3.8.31
		○区画線工事において、2缶搭載のプライマー 散布機の使用	全員	R3.8.31
		○充電式の集塵式ロータリーハンマードリルの使用	全員	R3.8.31
		○充電式インパクトレンチの使用	全員	R3.8.31
		○バンドソーの使用	全員	R3.8.31

1 1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	現場担当者	○	令和2年9月15日
	第12条の三 7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	政岡 文子	○	令和2年6月30日
	規則第8条	○保管場所の表示 見やすい箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	岡 進也	○	令和2年9月15日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト ・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
振動規制法	第5条	○振動規制基準の遵守	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	その都度	現場担当者	○	令和2年9月15日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和元年9月1日より令和2年8月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者
岡 廣明

12. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

- 定期見直し
- 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】				【環境経営方針】	
①環境関連法規制等の遵守状況				変更の必要性： □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
環境関連法規等への違反訴訟はありませんでした。					
②問題点の是正処置及び予防処置の状況					
今期内での問題点の是正はありませんでした。					
③前回までの代表者の指示事項への対応					
自己管理・自己チェックを行い、より確実に進めていきます。					
<改善提案>				【環境経営目標・環境経営活動計画】	
今後も環境活動計画をスケジュール通りに実行していく。				変更の必要性： □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
【目標・環境活動計画の達成状況】				環境負荷の少ない工事は、施工計画書・工事日報等にて確認を行い、よくできている。	
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	CO ₂ 発生抑制に関しては、乗り合わせや施工でのムダを省く事で、抑制に努めている。	
CO ₂ 排出量	×	○	燃料の使用に伴い増加		
用水使用量	×	○	増加している		
一般廃棄物排出量	×	○	ペーパーレス化に努める		
産業廃棄物排出量	○	○	減少している		
				【実施体制】	
				変更の必要性： □有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<改善提案>				エコアクション21は環境経営システムとして有効に機能している。	
遠方の現場等に対しては、車両の乗り合わせ、燃費のよい車両の優先使用やムダのない車両計画を徹底する。					
【周囲の変化の状況】				【総括】 (環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直し・指示の欄に記載)	
①外部コミュニケーション記録より				環境目標の達成率は総量・原単位ともに、ほぼ全ての項目において目標達成となっている。特にガス使用量が大幅に増加しており、CO ₂ 排出量の増加につながっているが、基準年に対して、区画線工事の量が倍近くなっている為、ガス・軽油の使用量が増加している。	
外部からの苦情・要望等はありませんでした。				その為、前期と今期を比較すると、売上高が減少しているにも関わらず、CO ₂ 排出量は増加しているが、利益率は、前期と今期でほぼ同程度となっている。	
②環境関連法規制等の動向他				全ての項目において、未達成になっているからと言って、今期の活動が評価に値しないとは一概に言えないので、今後は、基準年や目標値について、再検討を行う。	
今期、当社の事業に関する環境関連法規等の改定はありませんでした。				環境に配慮した施工については、小さなことでもよいので、一人一人が工夫や提案をもって日々作業を行うよう促していく。	
<改善提案>				来期も「思いやり」「気配り」「目配り」をモットーとして、会社全体でエコアクションに取り組む。	
代表者が自ら得た情報					
上水道 (H23年8月設置)					
LED電球 (H24年5月設置)					
環境の杜こうちを応援					
公共交通エコポイント (H24年5月~H30年5月)					
NPO法人エコアクション21こうち入会 (H26年2月)					
高知クリーン推進会入会 (H29年6月)					

13. その他の取組

1. 自然環境保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
NPO法人環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2012年5月～ 2020年5月

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
88クリーンウオーク	2020年8月

3. 協会清掃活動

支援イベント名	実施年月
「土木の日」の道路清掃	2019年11月

NPO法人エコアクション21こうちの正会員として、エコアクション21の普及活動を支援